1. 授業の概要(ねらい)

国際政治学の基礎として3つの事項を講義します。

1. 国際政治、国際政治学、国際社会、ナショナリズム、国益、パワー、国家といった基礎的用語の意味。
2. 現代国際政治のアクター。
3. 国際政治におけるリアリズムとリベラリズム。
目的は現代国際政治の構造の理解です。

2. 授業の到達目標

単位取得時に①今日より広く深い理解が求められている国際政治の構造を説明できる、②国際政治の構造を理解したうえで、政治外交・安全保障に関する意見を述べるができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業内試験(4回実施予定)と期末試験(定期試験として1回実施)の得点を全て加算し、平均して成績をつけます。各試験の成績評価における比重は同じです。出席を怠ると授業内試験を受けられず、期末試験前に不合格が確定してしまう恐れがあります。

4. 教科書・参考文献

教科書

セメスターの初めに専用プリントを配付します。A3判25枚程度を配付する予定です。

参考文献

猪口孝他編 『国際政治事典』 弘文堂

5. 準備学修の内容

授業に出席する前に専用プリントをよく読み、国際政治に関連する用語をプリントの所定の範囲から3つ抽出し、それらの意味を調べて下さい。それらの意味を解説したレポートを授業のはじめに提出してもらいます。

6. その他履修上の注意事項

①事前に履修すべき科目は政治学ⅠⅡ、国際関係論ⅠⅡ、外交史ⅠⅡ等本学部の1年次、2年次に配当されている政治学関連科目、今後履修すべき科目は国際政治学Ⅱです。

②授業を優先しコンスタントに出席して、確実にプリントを受け取り、全ての授業内試験を受けて下さい。出席は、学生証のカードリーダーへのタッチで判定します。なりすまし防止のため、学生証を忘れた場合は原則欠席とします。

7. 授業内容

- 【第1回】 (ガイダンス)授業方針をよく聞いて履修登録するか否かを判断する。
(第1講)国際政治の定義、国家が対立し争う原因(ナショナリズム)を学ぶ。
- 【第2回】 (第1講続)国家が対立し争う原因(国益)、パワーの定義を学ぶ。
- 【第3回】 (第1講続)現代国際政治の概容・趨勢を学ぶ。
- 【第4回】 第1回授業内試験
(第2講)国際社会とは何かを学ぶ。
- 【第5回】 (第2講続)国際社会の発展過程を学ぶ。
- 【第6回】 第2回授業内試験
(第3講)国家の定義と機能を学ぶ。
- 【第7回】 (第3講続)17世紀から19世紀に至るヨーロッパの肯定的国家観を学ぶ。
- 【第8回】 (第3講続)マルクスの国家観(国家の死滅)を学ぶ。
- 【第9回】 (第3講続)政治的多元主義の国家観を学ぶ。
- 【第10回】 第3回授業内試験
(第4講)国際政治における伝統的アクターとリアリズムについて学ぶ。
- 【第11回】 (第4講続)国際政治における新しいアクター(①グローバルな国際組織<国際連盟、国際連合>)とリベラリズムについて学ぶ。
- 【第12回】 第4回授業内試験
(第4講続)国際政治における新しいアクター(②地域的国際組織<EU、ASEAN>)と地域統合について学ぶ。
- 【第13回】 (第4講続)国際政治における新しいアクター(②地域的国際組織<AU>)と地域統合について学ぶ。
- 【第14回】 (第4講続)国際政治における新しいアクター(③国際的活動を展開する市民組織<NGO>、④巨大な多国籍企業)について学ぶ。
- 【第15回】 (第4講続)国際政治における新しいアクター(⑤国際的活動を展開する宗教的・民族的組織)について学ぶ。